**『啐啄』～　”詩　『子ども』　作:ドロシー・ロー・ノルト”**

**大人として考えさせられたこと　～**

**2月号**

**瀬田中学校　校長　今井　弘樹**

**☆彡**　 **2月9日に瀬田小、瀬田南小、他学区からこの4月に入学する6年生と保護者の方々に瀬田中学校体育館へ来てもらい入学説明会を行いました。冒頭、子供たちに私から「瀬田中学校ができて何年目だと思いますか？」と尋ねたところ、元気な声で「22年!!」「120年!!」「30年!!」と順に答えてくれました。何故か正解に近い声がなく、私から「71年目です」とこ答えると「えっー」と大きな歓声が上がりました。「大規模改修も終わり、すっかりときれいな校舎になって新入生の皆さんを迎える準備が整い、あとは入学式を待つばかりです。歓迎します」と伝えました。**

**☆彡**　**本護者の方々には、子供たちは中学の3年間で大きく成長すること。有名な臨床心理の専門家である河合隼雄氏が「さなぎの時代」と名付けられたように、子供の心の中は激しく揺れ動き大きく変化します。保護者の方も不安になったり悩まれることが必ずあると思います。そんな時はどんなに小さいことでも学校に質問してほしい、また、瀬田中学校は心の専門家であるスクールカウンセラー(SC)の常駐校でことから、遠慮せずに相談してほしいと伝えました。そして、最後に****スウェーデンの社会の教科書に掲載されている****のという詩の一部を読み上げました。大変、意味深く大人にとって考えさられる、そして、行動すべきことを教えてくれる詩だと思います。ここでも紹介したいと思います。**

**☆彡****『子ども』　　作:ドロシー・ロー・ノルト**

**批判ばかりされた　子どもは　非難することを　おぼえる　　　　　　　　　　　殴られて大きくなった　子どもは　力にたよることを　おぼえる
笑いものにされた　子どもは　ものを言わずにいることを　おぼえる
皮肉にさらされた　子どもは　鈍い良心の　もちぬしとなる
しかし、
激励をうけた　子どもは　自信をおぼえる
寛容にであった　子どもは　忍耐を　おぼえる
賞賛をうけた　子どもは　評価することを　おぼえる
フェアプレーを経験した　子どもは　公正を　おぼえる
友情を知る　子どもは　親切を　おぼえる
安心を経験した　子どもは　信頼を　おぼえる
可愛がられ　抱きしめられた　子どもは
世界中の愛情を　感じとることを　おぼえる**

 **☆彡 　このドロシー・ロー・ノルトの詩は、『あなた自身の社会　スウェーデンの社会の教科書』に掲載されているようです。スウェーデンでは中学生になると将来、どんな社会を作っていこうかと考え始める準備をする時期でもあります。この詩をもとに、子供自身が「どんな社会の形成者として成長していくのか」を考えていくことを大切にしていると聞きました。**

**3月13日の卒業式では、3年生が瀬田中学校を巣立っていきます。3年生一人ひとりがどんな社会の形成者として、どんな未来を創って行ってくれるのか、瀬田中学校の3年間が担った教育の成果は近い未来に出されると信じています。**

**3年生にとっては、卒業まで1か月を切りました。全力で最後まで “自分” を仕上げて下さい。健闘を祈っています！**